

主友電気工業・大阪製作所(上)

時代に
む! 工場

導電製品

主友電気工業・大阪製作所(大阪市此花区)は、住友の銅事業の流れをくむ同社にとって最も古い歴史と伝統がある製作所になる。電線・エネルギー関連やシステム製品の製造に加え、新規事業の創出といった研究開発部門の機能もある同製作所のうち、今回は導電製品工場、電力ケーブル工場、レドックスフロー電池(RF電池)実証サイトに焦点を当てて取材した。

線製造支える2基の炉



大阪製作所



大阪製作所

タイトコイルで効率巻取

主に導電製品のほか、電力ケーブルや情報・制御システム、ハイブリッド製品の開発・製造を手がける。世界におけるマザーワークの役割も担っている。

尼崎線の道路を挟み東工場と西工場に分かれる。敷地面積は約27万7000平方㍍で、恩賀島バーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)がある。

主友電気工業・大阪製作所はJRゆめ咲線・安治川口駅から徒歩10分ほどの場所にある。敷地面積は約27万7000平方㍍で、恩賀島バーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)がある。

主友電気工業・大阪製作所はJRゆめ咲線・安治川口駅から徒歩10分ほどの場所にある。敷地面積は約27万7000平方㍍で、恩賀島バーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)がある。

特金スクラップ問屋(社長)は10月1日付で、移管する。新社名は「富士興産(本社)」大原料リサイクル事業を「土マテリアル㈱」とし、阪市浪速区、赤嶺和俊分離独立して新会社に、社員スタッフとともに、援を中心とした資産管

富士興産 社名は「富士ママテリアル」

新会社に10月事業移管

同社では世界的なサーキュラー・エコノミー、やカーボンニュートラルへの意識の高まりから、アルミニサイクル需要の拡大を見越し、

タイ、原料受け入れ50%増

国内外の拠点で能力強に踏み切ることを決めた。

石川工場では6月ごろに3回転炉を更新し、生産能力を高めた。

石川工場の更新した回転炉

アルミニドロスのリサイクル処理などを手掛ける加藤工業所(本社)は、アルミニドロス処理能力の能力増強に国内外で取り組んでいる。国内では石川工場(石川県加賀市)の回転炉と灰絞り機をリニューアル、富岡工場(栃木県鹿沼市)ではギューピカルの更新計画などリサイクル処理能力の拡充を図る。また、タイでも2026年をめざし原料受け入れ能力の増強を進めていく考えだ。

アルミニドロスのリサイクル処理などを手掛ける加藤工業所(本社)は、アルミニドロス処理能力の能力増強に国内外で取り組んでいる。国内では石川工場(石川県加賀市)の回転炉と灰絞り機をリニューアル、富岡工場(栃木県鹿沼市)ではギューピカルの更新計画などリサイクル処理能力の拡充を図る。また、タイでも2026年をめざし原料受け入れ能力の増強を進めていく考えだ。

アルミニドロスのリサイクル処理などを手掛ける加藤工業所(本社)は、アルミニドロス処理能力の能力増強に国内外で取り組んでいる。国内では石川工場(石川県加賀市)の回転炉と灰絞り機をリニューアル、富岡工場(栃木県鹿沼市)ではギューピカルの更新計画などリサイクル処理能力の拡充を図る。また、タイでも2026年をめざし原料受け入れ能力の増強を進めていく考えだ。

アルミニドロスのリサイクル処理などを手掛ける加藤工業所(本社)は、アルミニドロス処理能力の能力増強に国内外で取り組んでいる。国内では石川工場(石川県加賀市)の回転炉と灰絞り機をリニューアル、富岡工場(栃木県鹿沼市)ではギューピカルの更新計画などリサイクル処理能力の拡充を図る。また、タイでも2026年をめざし原料受け入れ能力の増強を進めていく考えだ。

アルミニドロスのリサイクル処理などを手掛ける加藤工業所(本社)は、アルミニドロス処理能力の能力増強に国内外で取り組んでいる。国内では石川工場(石川県加賀市)の回転炉と灰絞り機をリニューアル、富岡工場(栃木県鹿沼市)ではギューピカルの更新計画などリサイクル処理能力の拡充を図る。また、タイでも2026年をめざし原料受け入れ能力の増強を進めていく考えだ。

アルミニドロスのリサイクル処理などを手掛ける加藤工業所(本社)は、アルミニドロス処理能力の能力増強に国内外で取り組んでいる。国内では石川工場(石川県加賀市)の回転炉と灰絞り機をリニューアル、富岡工場(栃木県鹿沼市)ではギューピカルの更新計画などリサイクル処理能力の拡充を図る。また、タイでも2026年をめざし原料受け入れ能力の増強を進めていく考えだ。

アルミニドロスのリサイクル処理などを手掛ける加藤工業所(本社)は、アルミニドロス処理能力の能力増強に国内外で取り組んでいる。国内では石川工場(石川県加賀市)の回転炉と灰絞り機をリニューアル、富岡工場(栃木県鹿沼市)ではギューピカルの更新計画などリサイクル処理能力の拡充を図る。また、タイでも2026年をめざし原料受け入れ能力の増強を進めていく考えだ。

アルミニドロスのリサイクル処理などを手掛ける加藤工業所(本社)は、アルミニドロス処理能力の能力増強に国内外で取り組んでいる。国内では石川工場(石川県加賀市)の回転炉と灰絞り機をリニューアル、富岡工場(栃木県鹿沼市)ではギューピカルの更新計画などリサイクル処理能力の拡充を図る。また、タイでも2026年をめざし原料受け入れ能力の増強を進めていく考えだ。

K M C T 、タイ販売3%増

今12月期見通しエアコン需要回復

限りある資源
株式会社
群馬県高崎市中
TEL 027-386-26
・亜鉛溶解・スクラッタ
・貴金属、レアメタル、
<https://eco-mate.jp>

制構築し、サステナブルな事業運営に結び付けていく考え。同社は1954年に設立、資本金は500

万円。従業員は連結で約130人。アルミニドロスのリサイクル処理などを手掛ける加藤工業所(本社)は、アルミニドロス処理能力の能力増強に国内外で取り組んでいる。国内では石川工場(石川県加賀市)の回転炉と灰絞り機をリニューアル、富岡工場(栃木県鹿沼市)ではギューピカルの更新計画などリサイクル処理能力の拡充を図る。また、タイでも2026年をめざし原料受け入れ能力の増強を進めていく考えだ。

制構築し、サステナブルな事業運営に結び付けていく考え。同社は1954年に設立、資本金は500

万円。従業員は連結で約130人。アルミニドロスのリサイクル処理などを手掛ける加藤工業所(本社)は、アルミニドロス処理能力の能力増強に国内外で取り組んでいる。国内では石川工場(石川県加賀市)の回転炉と灰絞り機をリニューアル、富岡工場(栃木県鹿沼市)ではギューピカルの更新計画などリサイクル処理能力の拡充を図る。また、タイでも2026年をめざし原料受け入れ能力の増強を進めていく考えだ。

化学系子会社を再編

アルコニックス応用開発推進

アルコニックスは、編組合により、応用開発を推進する。このほど

6-15%程度に伸縮する

6-15%程度に伸縮する

7%減少。ただし、新会社を設立する

7%減少。ただし、新会社を設立する

水給湯暖房機、ATWは低調なままで、田口社長は「回復を待つて

水給湯暖房機、ATWは低調なままで、田口社長は「回復を待つて

エアコン需要が前年下期の落ち込みから回復始めた。ただ、

エアコン需要が前年下期の落ち込みから回復始めた。ただ、

ATW市場の冷え込み始めている。ただし、

ATW市場の冷え込み始めている。ただし、

ATW需要の鈍化も重なった。2022年期は前年同期比約20%減の2万2400

ATW需要の鈍化も重なった。2022年期は前年同期比約20%減の2万2400

ATW需要の鈍化も重なった。2022年期は前年同期比約20%減の2万2400